

令和5年度ネットリサーチ「歩行者に対する保護意識及び横断歩道における安全な交通行動」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 信号機のない横断歩道での停止状況については、「横断歩道の手前で必ず停止する」(34.9%)、「横断歩道の手前で停止するときが多い」(40.8%)を合わせた【停止する】が75.7%となっている。一方で、「横断歩道の手前で停止しないときが多い」(11.8%)、「停止しないで通過する」(2.8%)を合わせた【停止しない】が14.6%となっている。
- 信号機のない横断歩道で停止しない理由については、「歩行者が横断するかどうか分からない」が33.0%で最も高く、「停止すると後続車に追突されたり、追い越されたり危険である」が23.5%と続く。
- 信号機のない横断歩道を安全に横断するための効果的な取組は、「子供の頃からの歩行者保護の交通安全教育を強化する」が53.0%で最も高く、「大人が子供の見本となるような交通安全行動を取る」が41.9%と続く。

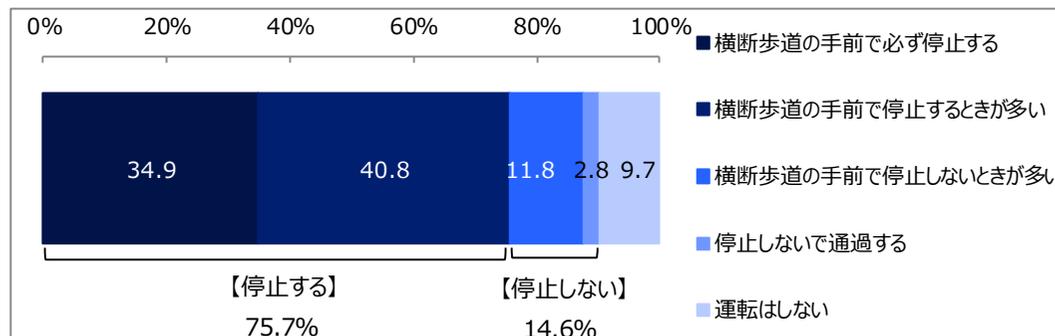
■調査結果の概要

1 信号機のない横断歩道での停止状況

- ◇ 「横断歩道の手前で必ず停止する」(34.9%)、「横断歩道の手前で停止するときが多い」(40.8%)を合わせた【停止する】が75.7%となっている。
- ◇ 一方で、「横断歩道の手前で停止しないときが多い」(11.8%)、「停止しないで通過する」(2.8%)を合わせた【停止しない】が14.6%となっている。

Q1.あなたは、車を運転しているときに、信号機のない横断歩道の近くに歩行者がいた場合、どうしていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
横断歩道の手前で必ず停止する	34.9	349
横断歩道の手前で停止するときが多い	40.8	408
横断歩道の手前で停止しないときが多い	11.8	118
停止しないで通過する	2.8	28
運転はしない	9.7	97



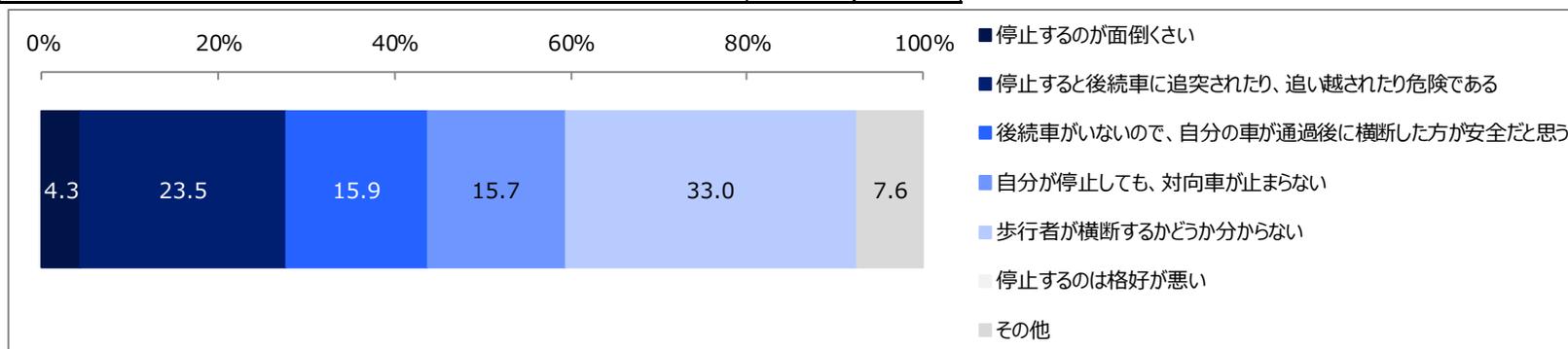
2 信号機のない横断歩道で停止しない理由

☆ 「歩行者が横断するかどうか分からない」が33.0%で最も高く、「停止すると後続車に追突されたり、追い越されたり危険である」が23.5%と続く。

(Q1で「横断歩道の手前で停止する 때가 多い」「横断歩道の手前で停止しない 때가 多い」「停止しないで通過する」と回答された方へ)

Q2.停止しないときの理由は何ですか。次の中から最もあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	554
停止するのが面倒くさい	4.3	24
停止すると後続車に追突されたり、追い越されたり危険である	23.5	130
後続車がないので、自分の車が通過後に横断した方が安全だと思う	15.9	88
自分が停止しても、対向車が止まらない	15.7	87
歩行者が横断するかどうか分からない	33.0	183
停止するのは格好が悪い	0.0	0
その他	7.6	42

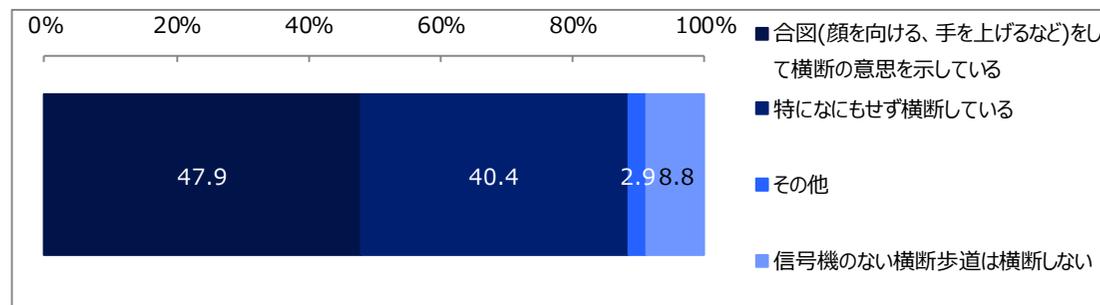


3 信号機のない横断歩道を渡る際の行動（横断前）

☆ 「合図(顔を向ける、手を上げるなど)をして横断の意思を示している」が47.9%の一方で、「特になにもせず横断している」が40.4%となっている。

Q3.あなたは、車両が行き交っている道路で、信号機のない横断歩道を横断しようとするとき、どのような行動をしていますか。「横断前」について、あてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
合図(顔を向ける、手を上げるなど)をして横断の意思を示している	47.9	479
特になにもせず横断している	40.4	404
その他	2.9	29
信号機のない横断歩道は横断しない	8.8	88



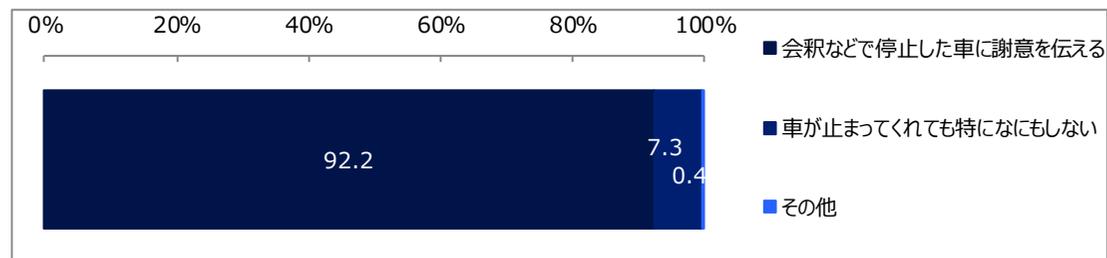
4 信号機のない横断歩道を渡る際の行動（横断中または横断後）

◇ 「会釈などで停止した車に謝意を伝える」が92.2%の一方で、「車が止まってくれても特になにもしない」が7.3%となっている。

（Q3で「合図(顔を向ける、手を上げるなど)をして横断の意思を示している」「特になにもせず横断している」「その他」と回答された方へ）

Q4.あなたは、信号機のない横断歩道を横断しようとするとき、車が止まってくれた場合、どのような行動をしていますか。「横断中または横断後」について、あてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	912
会釈などで停止した車に謝意を伝える	92.2	841
車が止まってくれても特になにもしない	7.3	67
その他	0.4	4

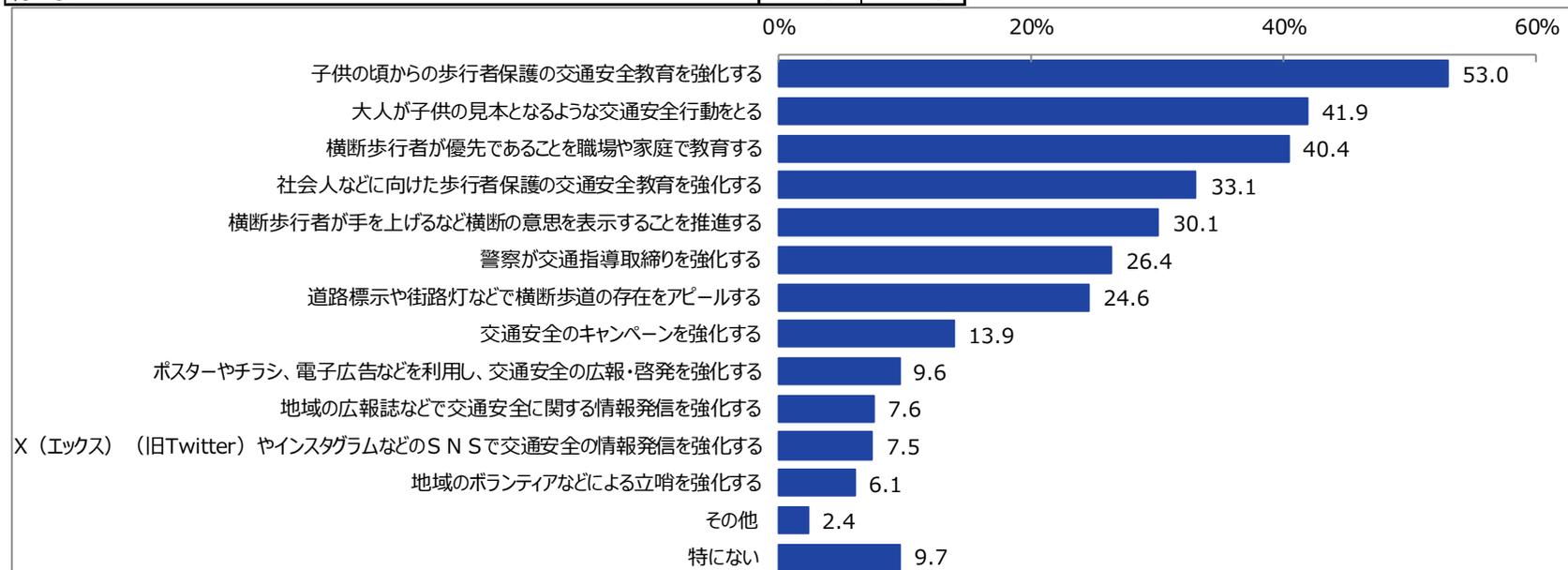


5 信号機のない横断歩道を安全に横断するための効果的な取組

◇ 「子供の頃からの歩行者保護の交通安全教育を強化する」が53.0%で最も高く、「大人が子供の見本となるような交通安全行動をとる」が41.9%と続く。

Q5.信号機のない横断歩道を歩行者が安全に横断するためには、どのような取組が効果的だと思いますか。次の中からあてはまるものを最大5つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
子供の頃からの歩行者保護の交通安全教育を強化する	53.0	530
大人が子供の見本となるような交通安全行動をとる	41.9	419
横断歩行者が優先であることを職場や家庭で教育する	40.4	404
社会人などに向けた歩行者保護の交通安全教育を強化する	33.1	331
横断歩行者が手を上げるなど横断の意思を表示することを推進する	30.1	301
警察が交通指導取締りを強化する	26.4	264
道路標示や街路灯などで横断歩道の存在をアピールする	24.6	246
交通安全のキャンペーンを強化する	13.9	139
ポスターやチラシ、電子広告などを利用し、交通安全の広報・啓発を強化する	9.6	96
地域の広報誌などで交通安全に関する情報発信を強化する	7.6	76
X（エックス）（旧Twitter）やインスタグラムなどのSNSで交通安全の情報発信を強化する	7.5	75
地域のボランティアなどによる立哨を強化する	6.1	61
その他	2.4	24
特にない	9.7	97



■調査の目的

横断歩道の横断に関する運転者と歩行者の意識を調査し、今後の交通安全対策の参考資料とするため。

■実施概要

・実施期間：令和5年11月24日～12月4日

・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和5年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		114	245	94	359	188	1,000
性別	男性	59	125	50	185	99	518
	女性	55	120	44	174	89	482
年代別	18～29歳	18	41	16	68	33	176
	30歳代	17	42	16	62	30	167
	40歳代	23	55	21	83	41	223
	50歳代	28	57	21	79	42	227
	60歳代	28	50	20	67	42	207

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。